

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 王子苑

作成日: 令和 4 年 11 月 14 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	18	介助する際に、声かけが強い口調や否定的な口調になってしまう事がある。	ゆったりした心で、一人一人に向き合い対応するように心掛け本人の思いを受容し、自尊心やプライバシーを損ねない声かけや対応を心がける。	間違いや失敗などがあっても、まずは受容しさりげなくフォローを行う。声のトーンや言葉遣いに配慮し、人格や思いを尊重する。一人一人に合わせた言葉かけを大切に個々が出来る事を見つけてお互いの仕事を手伝ったり、手伝ってもらったりすることで心の余裕が生まれ利用者様にしっかり向き合うようにする。又丁寧で優しい対応から利用者様とのつながりも深くなり介護の仕事の喜びも感じられる。	6ヶ月
2	23	職員は普段より、入居者と積極的に会話し、発言や意思を引き出せるように努めているが、介護記録の記載が介助中心となっていたため、入居者からの発言や表情変化なども、こまめに記録していく。	介護記録には入居者の発言や表情変化などもこまめに記載し、職員間で共有し、普段のケアや介護計画の作成に活用していく。	毎月の定例会議にて、入居者の発言や表情変化まで記載するよう指導し、記録意識を改善していく。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。